

マイ好奇心探究コース

成長するアジア・セブで「自分の強み」を磨くトビタテ留学

トビタテ！留学 JAPAN というと、

「貧困」「環境問題」「教育格差」「SDGs」といったテーマをイメージします。

もちろんそれらは重要な探究テーマです。CECもSDGs関連をメインで取り扱っています。

しかし、セブという都市の魅力はそれだけではありません。

セブは人口100万人を超えるフィリピン有数の都市であり、多くの大学や高校が集まり、英語を使った国際産業が発展しています。

また、若年人口が非常に多く、スポーツ、芸術、音楽、IT、ビジネスなどの分野で才能を持つ若者が数多く活躍しています。

だからこそ、セブでは「社会課題を学ぶ」だけでなく、

「世界に挑戦する若者から学ぶ」というマイ好奇心探究コースも可能です。

スポーツを通じた探究学習

例えばバスケットボール。フィリピンでは国民的スポーツであり、街中のいたるところにコートがあります。

実際に現地チームの練習に参加し、

- なぜフィリピン人はバスケットボールに熱中するのか
- 限られた環境でどのように技術を高めているのか
- スポーツが地域コミュニティにどのような役割を果たしているのか

を調査することができます。

また、「自分自身が海外の選手と競い合うことでどのように成長できるか」

という自己探究も立派な研究テーマです。

芸術・音楽・ダンス

フィリピンの若者は歌やダンスにも高い能力を持っています。

学校行事や地域イベントでは、多くの若者が積極的にパフォーマンスを行います。

日本との違いを比較しながら、

- 表現力
- 自己肯定感
- 人前で発表する力

について研究することも可能です。

英語とグローバル人材

セブには英語を流暢に話す若者が数多くいます。

なぜ第二言語である英語をここまで身につけられるのか。日本との違いはどこにあるのか。

英語教育だけでなく、

- 国際的なキャリア観
- 海外就職
- グローバル人材育成

という視点からも探究ができます。

トビタテ留学は「自分自身の挑戦」

探究学習とは、必ずしも社会課題を研究することだけではありません。

自分が興味を持つ分野に飛び込み、

現地の人々から学び、

新しい価値観に触れ、

自分自身を成長させることも大切な探究です。

セブには、社会課題だけでなく、

スポーツ、芸術、音楽、英語、IT、起業など、

日本の高校生が挑戦できるテーマが数多く存在します。

「発展途上国を学ぶ」のではなく、

「成長するアジアから学ぶ」。

それもまた、これからのトビタテ留学「[マイ好奇心探究コース](#)」の一つの形です。

このような自分が興味を持つものから課題をみつけ、トビタテ留学に応募してみたい人たちを CEC は全力でサポートします。

この分野でのトビタテ留学への応募に関しては、必ず応募する前に CEC に連絡いただき、どの程度まで現地で実現可能かを話し合ってから留学計画を作成するようにしていきましょう。

ぜひ、お気軽にご連絡ください。